



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱谷 雄二
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部 総務課 課長 (氏名)安藤 智隆 (TEL)03(6803)8100
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	322	△86.9	△235	—	△265	—	△267	—
2019年3月期第2四半期	2,461	47.1	522	293.3	526	366.6	275	268.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △266百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 275百万円 (268.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	△7.22	—	—	—
2019年3月期第2四半期	7.42	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第2四半期	5,329	2,746	51.5
2019年3月期	5,069	3,011	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,744百万円 2019年3月期 3,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,300	19.9	300	△20.1	130	△64.6	120	△115.5	3.24	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	37,131,000株	2019年3月期	37,131,000株
2020年3月期2Q	60,400株	2019年3月期	60,400株
2020年3月期2Q	37,070,600株	2019年3月期2Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、緩やかな景気回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の激化や日韓関係の悪化、英国のEU離脱問題など、海外経済情勢の不安が高まるとともに、日本国内では消費増税の影響も懸念され、先行き不透明感が強まっている状況にあります。

当社グループの属する不動産市場におきましては、2019年上半期（1月から6月）における国内商業用不動産投資額は、前年同期とほぼ同水準である2兆2,270億円となりました。第1四半期における投資額の減少分を、第2四半期の増加分が補い、上半期では2018年とほぼ同水準となり、不動産投資市場は堅調な状況が続いております。不動産投資に積極的なプレイヤーが増加するなか、物件売却によって開発プロジェクトや安値で購入した物件の利益を確定する動きが増加していることが、第2四半期における投資額の増加に繋がったものと推測されており、2019年下半年期につきましても、上半期と同様に安定した市場環境が続くと見られております。（ジョーンズラングラサール株式会社の調査レポートより）

このような状況下、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス（物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス）、及び賃貸事業や不動産賃貸・売上の仲介業務を行うソリューション事業、並びに当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（以下、大多喜ハーブガーデン）にて、ハーブガーデンの運営を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。加えて、前第4四半期連結会計期間より、新たにインバウンドをターゲットとして、差別化された宿泊施設の取得・開発及び観光周辺サービスといったインバウンド関連事業に取り組んでおります。

この結果、売上高は322,498千円（前年同四半期比86.9%減）、営業損失は235,514千円（前年同四半期は営業利益522,285千円）、経常損失は265,614千円（前年同四半期は経常利益526,117千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は267,693千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益275,077千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（プリンシパルインベストメント事業）

プリンシパルインベストメント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間においては、販売用不動産の売却はありませんでした。仕入活動につきましては、古民家を活用した宿泊施設を取得・開発する古民家事業では、東京・神奈川エリアにおいて4案件取得するとともに、「食」に着目した観光周辺サービスの1つであるフード関連施設（横丁事業）の開発用物件を5案件取得（うち、1件は北海道旭川市内において2019年8月10日にオープン）いたしました。加えて、2019年7月には中国上海市に中国人顧客に宿泊施設等のインバウンドソリューションを提供することを目的とした法人を設立し、現地での販売プロモーション等を実施しております。

この結果、売上高は一千円（前年同四半期の売上高は2,103,901千円）、セグメント損失（営業損失）は55,893千円（前年同四半期は607,849千円の営業利益）となりました。

（ソリューション事業）

ソリューション事業につきましては、賃貸事業において和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入を計上したものの、前第2四半期連結会計期間に埼玉県蓮田市に所在する物件を売却したことにより、賃料収入が減少いたしました。

この結果、売上高は208,639千円（前年同四半期比19.5%減）、セグメント損失（営業損失）は36,747千円（前年同四半期は83,572千円の営業利益）となりました。

（その他）

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにつきましては、2019年9月に千葉や茨城など農業産地を襲った台風15号は、ハーブガーデン内において複数のビニールハウスが倒壊するなどの大きな被害をもたらしたものの、いすみ鉄道とのコラボレーション企画等、各種イベントの積極的な開催やレストランメニューのリニューアルを機動的に実施した結果、ハーブガーデンへの入場者数は約1万人（前年同期比16%増）となりました。

この結果、売上高は113,859千円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント利益（営業利益）は10,591千円（前年同四半期比390.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ341,707千円増加し5,259,700千円となりました。これは主として、現金及び預金が981,434千円減少したものの、販売用不動産が1,068,977千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ81,947千円減少し70,039千円となりました。これは主として、投資その他の資産が87,085千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ259,760千円増加し5,329,740千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ302,023千円増加し1,168,171千円となりました。これは主として、短期借入金の増加249,506千円があったこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ222,892千円増加し1,415,392千円となりました。これは主として、長期借入金の増加214,889千円があったこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ524,916千円増加し2,583,564千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ265,156千円減少し、2,746,176千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,095,853	1,114,418
売掛金	51,581	60,824
営業出資金	98,000	86,990
販売用不動産	2,268,598	3,337,576
その他のたな卸資産	15,161	10,320
その他	388,798	649,570
流動資産合計	4,917,992	5,259,700
固定資産		
有形固定資産	18,733	23,871
無形固定資産	48	48
投資その他の資産	133,206	46,120
固定資産合計	151,987	70,039
資産合計	5,069,980	5,329,740
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,567	7,748
短期借入金	500,000	749,506
1年内返済予定の長期借入金	65,000	95,000
未払法人税等	230	1,642
前受金	14,308	13,925
賞与引当金	5,916	9,512
その他	275,126	290,837
流動負債合計	866,148	1,168,171
固定負債		
長期借入金	1,192,500	1,407,389
その他	—	8,003
固定負債合計	1,192,500	1,415,392
負債合計	2,058,648	2,583,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	977,398	709,705
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	3,011,332	2,743,638
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	699
その他の包括利益累計額合計	—	699
新株予約権	—	1,837
純資産合計	3,011,332	2,746,176
負債純資産合計	5,069,980	5,329,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,461,235	322,498
売上原価	1,553,466	228,623
売上総利益	907,769	93,874
販売費及び一般管理費	385,484	329,389
営業利益又は営業損失(△)	522,285	△235,514
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	1,366
受取保険金	—	667
匿名組合投資利益	43,418	—
その他	622	742
営業外収益合計	44,053	2,775
営業外費用		
支払利息	17,519	13,949
資金調達費用	22,701	17,439
その他	0	1,486
営業外費用合計	40,221	32,875
経常利益又は経常損失(△)	526,117	△265,614
特別損失		
固定資産売却損	2,467	—
特別損失合計	2,467	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	523,650	△265,614
法人税等	248,572	2,078
四半期純利益又は四半期純損失	275,077	△267,693
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	275,077	△267,693

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	275,077	△267,693
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	699
その他の包括利益合計	—	699
四半期包括利益	275,077	△266,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,077	△266,993
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	523,650	△265,614
減価償却費	2,547	2,790
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,616	3,596
受取利息及び受取配当金	△12	△1,366
支払利息	17,519	13,949
資金調達費用	22,701	17,439
匿名組合投資損益(△は益)	△43,418	—
固定資産売却損益(△は益)	2,467	—
売上債権の増減額(△は増加)	187	△9,243
前渡金の増減額(△は増加)	△10,000	△256,892
営業出資金の増減額(△は増加)	△80,000	11,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	798,115	△1,064,136
前受金の増減額(△は減少)	△14,714	△383
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△121,971	2,335
その他の資産の増減額(△は増加)	△11,096	△26,708
その他の負債の増減額(△は減少)	80,164	17,899
その他	—	1,218
小計	1,183,755	△1,554,106
利息及び配当金の受取額	12	1,366
利息の支払額	△17,823	△14,435
法人税等の支払額	△44,927	22,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,121,017	△1,544,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,716	△2,512
無形固定資産の売却による収入	619,033	—
投資有価証券の取得による支出	△89,905	—
投資有価証券の売却による収入	—	88,724
定期預金の預入による支出	△2,000	△275,000
定期預金の払戻による収入	—	90,000
その他	△502	△2,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	522,909	△101,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	749,506
短期借入金の返済による支出	△15,000	△500,000
長期借入れによる収入	—	286,000
長期借入金の返済による支出	△1,230,625	△41,111
リース債務の返済による支出	△2,750	△187
新株予約権の発行による収入	—	1,800
手数料の支払額	△22,701	△17,360
配当金の支払額	△213	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771,290	478,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	699
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	872,636	△1,166,434
現金及び現金同等物の期首残高	1,729,724	2,080,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,602,361	914,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,103,901	259,047	2,362,948	98,286	—	2,461,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	14,791	△14,791	—
計	2,103,901	259,047	2,362,948	113,078	△14,791	2,461,235
セグメント利益	607,849	83,572	691,421	2,161	△171,298	522,285

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益の調整額△171,298千円には、セグメント間取引消去△14,791千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△156,506千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	—	208,639	208,639	113,859	—	322,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	15,438	△15,438	—
計	—	208,639	208,639	129,297	△15,438	322,498
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△55,893	△36,747	△92,640	10,591	△153,464	△235,514

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△153,464千円には、セグメント間取引消去△15,438千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△138,026千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。